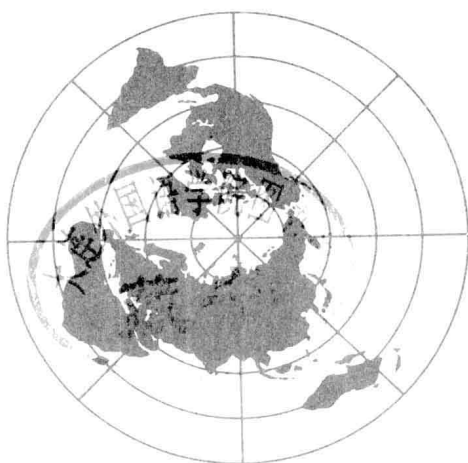




世界の議会

ヨーロッパ〔II〕

執筆者代表
石井五郎



●写真提供 (敬称略)

酒井吉温

小川 元

遠藤紀勝

憲政記念館

フランス大使館(東京)

PANA通信社

PPS通信社

ウィングズ・フォト

オリオンプレス

サンエイ・フォト

ジャパン・プレス・フォト

ダンディ・フォト

フォト・バック

地図制作 モリシタ

世界の議会 ④ ヨーロッパ〔II〕

1983年9月10日 初版発行

定価 3,800円(送料350円)

〔検印省略〕

執筆者代表 石井五郎

発行所 株式会社 **きょうせい**

本 社 東京都中央区銀座7の4の12

営業所 東京都新宿区西五軒町52 郵便番号162

電話 代表(268)2141 振替口座 東京4-10,000番

編集協力・装幀・レイアウト (株)村上美術

印刷 図書印刷株式会社

製本 大日製本印刷株式会社

監修のことば

世界の国々や諸々の地域には、たいてい議会が存在する。けれども、ひと口に議会といつてもその名称や形態はさまざまである。

例えば、名称について見てみよう。イギリスは、議会政治の母国といわれているが、その名は、一三世紀からパラメントである。ところが、同じ英語国であるアメリカでは、コンGRESSと呼ばれている。日本は現在、国会というが、明治憲法の下では帝国議会と名付けられていた。また社会主義の国々では、ソ連邦最高会議（ソビエト）とか中国のように全国人民代表会議が、一般の議会に該当する呼称である。

次に議会の構成であるが、これも一様でない。それは、一院制をとるか二院制をとるかの論争からも判るところである。現代世界の多くの国々は二院制をとっているが、北欧諸国、スペイン、モナコ、さらにユーゴスラビアを除く東欧の国々、若干の発展途上国では一院制である。一院制の理由は、国民の意思は単一に表現されるべきだということと、法律や予算の成立を遅らせないという点にある。これに対して、二院制は、法案の審議に慎重性を導入し、且つ審議を両院で分担することによって審議時間の節減を促すという効用がある。また、アメリカやソ連のように連邦制をとる国では、一般代表と州または民族代表が、それぞれ二院を構成している。さらに一院が地域代表で、他院が職能代表で構成される場合もある。日本国憲法の草案では一院制となっていたが、幣原内閣が二院制に改めたことは有名である。

名称や構成と並んで、さらに問題となるのが、国政に占める議会の役割である。たとい豪壮な議事堂を有していても、また選挙の手続きがよく整備されていようと、国政において演ずる権限が他の機関(例えば君主・行政府・軍部など)と較べて弱ければ、議会の機能を果しているとはいえない。いまでも、発展途上国などで独裁的な指導者による支配が見られるが、こうしたところの議会は在って無きがごとき存在といってよい。これに対して、イギリスやこれに類似する国々では、議会が国政の最高機関とされていたり、また、アメリカやフランスのごとく三権分立の原理には立ちながら、なお議会が比較的優位を占めているところでは、国政における議会の役割は強い。議会が、国民の総意を結集する最大のものであることを考えれば、民主政治の発展が議会政治の成熟と深い関連をもっている理由が理解されるであろう。わが国でも、憲法が国会は国政の最高機関であると定めているのは、周知のとおりである。

けれども、憲法の規定や制度の実現だけでは、議会の価値は判らない。そのためには、議会を舞台として活動する与野党議員の攻防、政党の応酬と妥協、二大政党制か多党制か、小選挙区制か比例代表制か、政治資金のありかたなどの選挙のしくみ、さらには国民や地域住民の政治意識などに立ち入って検討してみる必要がある。なぜなら、議会もまたそれぞれの国民の政治文化の所産だからである。私もかつていろいろな外国の議会を傍聴したり見学したりしたことがあるが、議席や大臣席の配置、議場の装飾やたたずまい、傍聴席の雰囲気などにそれぞれのお国ぶりがうかがえて、大変興味深かったことを憶えている。

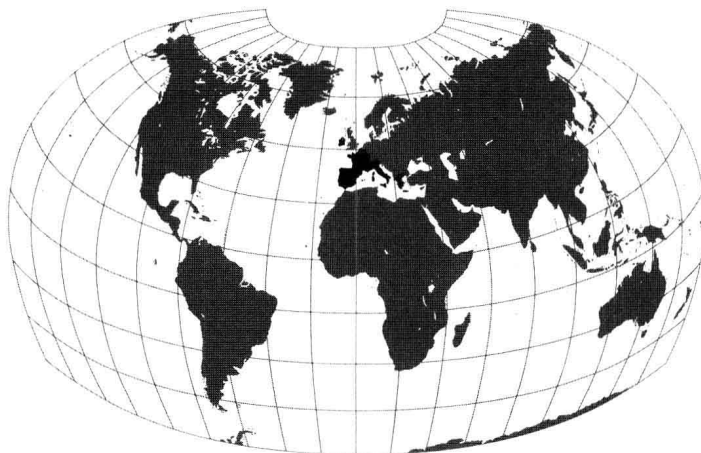
「世界の議会」は、各国各地域の議会を、その政治文化の中で生き生きと描き出している。これだけの大きいスケールで、世界の議会の立体像を集めた刊行は、文字どおり世界で最初の試みである。

辻 清明

世界の議会

4

ヨーロッパ〔Ⅱ〕





目次



監修のことば

第一部	フランス	17
-----	------	----

一	フランスの政体	18
二	議会の姿	22
三	議会の権限	27
四	議会と行政府とのコントロール関係	34
五	議会の活動の実際	38
六	選挙	49
七	政党	64

第二部	イタリア	79
-----	------	----

一	イタリア概観	80
二	国家の組織	89
三	議会	94
四	政党	104
五	選挙	109

第三部

スペイン／ポルトガル／ギリシア／モナコ
サンマリノ／マルタ／バチカン市国／アイルランド

115

第一章 スペイン

- 一 スペインという国……………116
- 二 国会の歴史……………117
- 三 新憲法の成立……………123
- 四 新憲法下の国会……………125
- 五 政党……………136

116

第二章 ポルトガル共和国

- 一 共和制樹立以後の政情……………153
- 二 統治機構……………155
- 三 国会……………157
- 四 選挙……………159
- 五 政党……………160

153

第三章 ギリシア共和国

- 一 王制から共和制へ……………162
- 二 統治機構——大統領制議会主義……………163
- 三 国会……………164
- 四 選挙……………165
- 五 政党……………167

162

第四章 モナコ公国

- 一 はじめに……………170
- 二 歴史と現況……………171
- 三 政治体制……………173
- 四 国会……………175
- 五 選挙制度……………179
- 六 政党……………180

170

第五章 サンマリノ共和国

- 一 国土と歴史……………181
- 二 統治機構……………182
- 三 選挙……………183
- 四 政党……………184

181

第六章 マルタ共和国

- 一 マルタ——地中海の島国……………201
- 二 議会……………202
- 三 選挙……………209
- 四 政党……………211

201

第七章	バチカン市国	214
-----	--------	-----

一	バチカン	218
二	カトリックの中央組織としてのバチカン	214
三	世俗国家としてのバチカン	225

第八章	アイルランド	228
-----	--------	-----

一	議会の歴史	232
二	議会	228
三	選挙	248
四	政党	240

写真で見るフランス	1	首都パリを見る	9
-----------	---	---------	---

写真で見るフランス	2	国会議事堂	41
-----------	---	-------	----

写真で見るイタリア	1	国会議事堂	81
-----------	---	-------	----

写真で見るスペイン	1	議会と選挙	145
-----------	---	-------	-----

写真で見る各国の表情	1	ポルトガル	185
------------	---	-------	-----

写真で見る各国の表情	2	ギリシア	188
------------	---	------	-----

写真で見る各国の表情	3	モナコ公国	192
------------	---	-------	-----

写真で見る各国の表情	4	サンマリノ	194
------------	---	-------	-----

写真で見る各国の表情	5	マルタ	195
------------	---	-----	-----

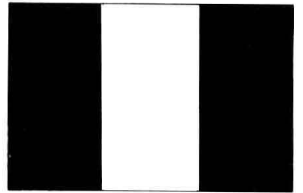
写真で見る各国の表情	6	バチカン市国	196
------------	---	--------	-----

写真で見る各国の表情	7	アイルランド	199
------------	---	--------	-----

●コラム

スペインの闘牛とフラメンコ	116	マルタ騎士団と国会議事堂	203
サラザール首相の財政再建	155	教皇選挙大議(コンクラーベ)	218
モナコの賭博について	174	アイルランド移民	229
サンマリノと英雄ガリバルディ	182	国旗	230

索引	256
----	-----



↑ フランス国旗

首都。パリを見る

●写真で見るフランス ①

フランスの首都であるばかりでなく、世界の学術・文化の中心地として、「花の都」「光の都」と呼ばれるパリは、凱旋門、セーヌ川、シャンゼリゼ通り、エッフェル塔など、それ自体一つの博物館のように町中に歴史が展開している。この町の華やかさの裏にある、自由を求めて立ちあがった多くの人々の革命の痕跡も、見のがしてはならない。

← シャンゼリゼ大通り(中央)と凱旋門(手前)



↑ ノートルダム大聖堂よりバリ東部展望。中央はサンルイ島、左右の川はセーヌ川



↑ バリ市庁舎



↑ コンコルド広場の泉水とオベリスク

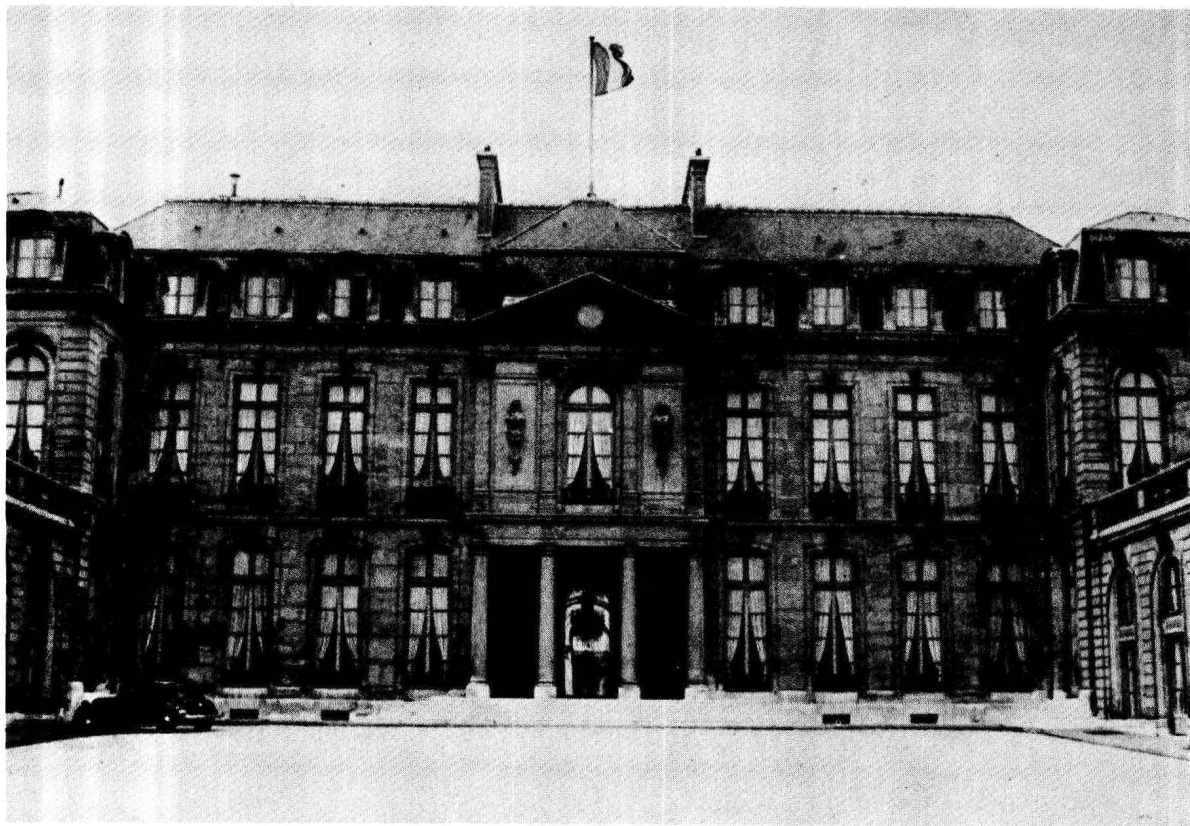


↑ フランス革命勃発の地、
バスチユ広場

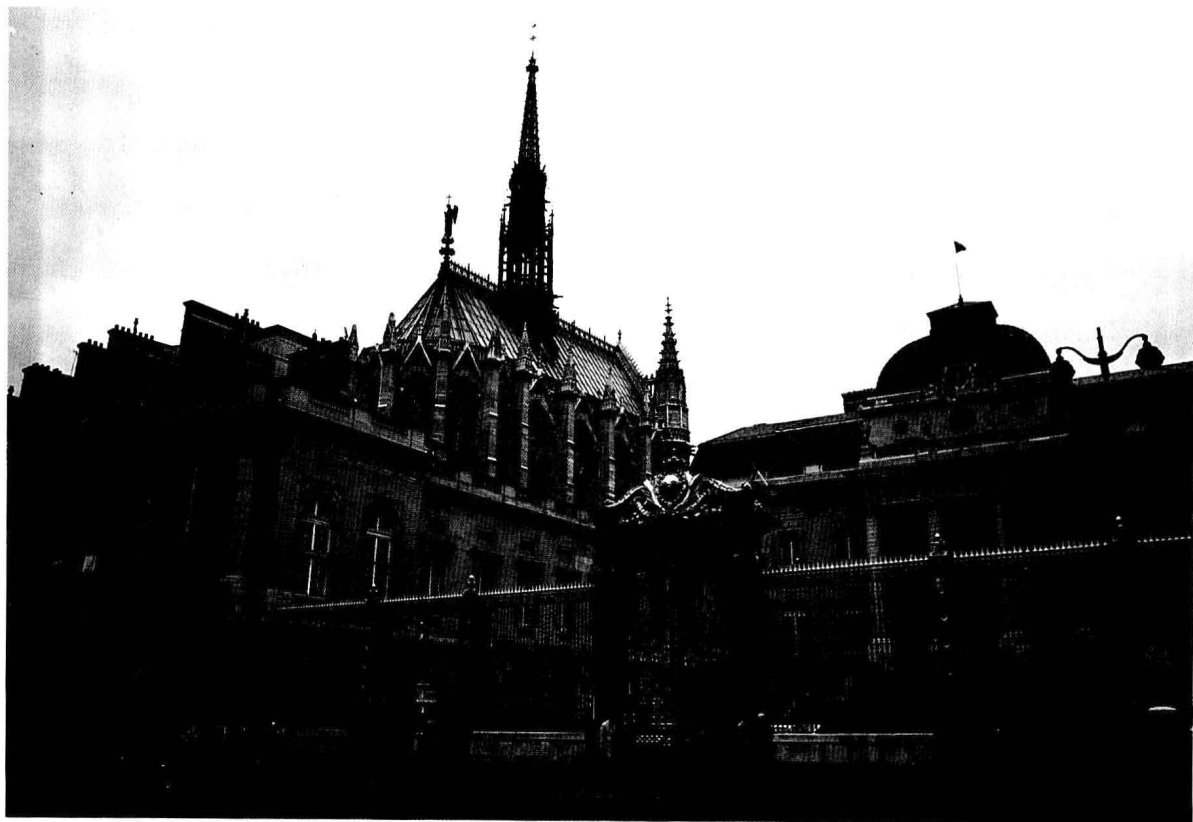


↑ エッフェル塔からパリ市西部の展望。手前はシャイヨ宮、奥の森はブローニュの森





↑ 大統領府と首相官邸 (パリ・エリゼ宮)



↑ パリの最高裁判所と、サント・シャベル (左)